

令和6年第4回 仙台市入札等監視委員会 会議録

【署名】

平岡 智広

押印掲載
を省略

1 日時 令和6年11月7日(木) 10時00分～ 11時25分

2 開催場所 仙台市役所本庁舎8階 第1委員会室

3 出席委員

蘆立 順美 委員

石川 宣子 委員

鍵屋 浩司 委員

平岡 智広 委員

米谷 康 委員

(50音順 敬称略)

4 説明等のため出席した者の職・氏名

財政局 財政部 契約課長	渡邊 信一
財政局 財政部 契約課 主幹兼工事契約係長	関本 英嗣
財政局 財政部 契約課 管理係長	相澤 文
都市整備局 技術管理室 技術企画担当課長兼被災地支援担当課長	渡部 昭彦
都市整備局 技術管理室 主幹兼技術企画担当係長	渡邊 康英
水道局 総務部 財務課長	林 雄次
水道局 浄水部 茂庭浄水課 主幹兼茂庭浄水場長	小林 康宏
交通局 総務部 財務課長	相澤 俊宏
交通局 総務部 財務課 契約管財係長	高橋 賢士
交通局 鉄道技術部 富沢管理事務所長	伊藤 悟
ガス局 総務部 財務課長	大槻 憲幸
ガス局 総務部 財務課 契約係長	根本 大助
ガス局 総務部 技術センター 主幹兼技術研修係長	佐藤 哲哉
ガス局 製造部 港工場長	豊嶋 教生
ガス局 製造部 港工場 管理係長	馬場 敏大
市立病院 経営管理部 財産管理課長	高橋 勝司
市立病院 経営管理部 財産管理課 契約管財係長	對馬 智子
市立病院 経営管理部 財産管理課 施設係長	照井 薫

5 会議の経過

【1】開会

【2】議事の経過及び内容

進行： 蘆立 順美 委員

会議録署名委員： 平岡 智広 委員

(1) 工事に係る入札及び契約手続の運用状況について

事務局より、「入札方式別発注工事総括表」(会議資料 P. 1)、「入札方式別発注工事一覧表」(会議資料 P. 2～20)、「指名停止の運用状況一覧表」(会議資料 P. 21)に基づき報告。

【質疑応答】

工事契約及び指名停止の状況

論点等	発言者	発言内容
指名停止後の対応について	委員	当該事業者が落札決定後に契約締結を辞退したNo. 2の案件について、その後再度入札を行ったのか。
	事務局	当該事業者以外の業者を指名して、指名競争入札を行った。
損害賠償について	委員	No. 2の案件では仙台市側に工期の遅れ等の損害が発生したと考えられる。この損失に関して民事責任を追及したか。
	事務局	指名停止にすることで当該事業者にはペナルティを科した。損害賠償請求の可能性も考えられるものの、本案件については影響範囲の特定や損害額の算出が困難である。
	委員	本案件はスケジュールの遅れ等、事業への影響が大きいケースだと思われる。同様の事例が再発した場合、指名停止期間を長くする等の対応が必要ではないか。

(2) 事案の抽出及び審議事案の選定について

1) 事務局より、今回審議対象となる 113 件の工事のうち、石川委員が事前に抽出した「入札方式別発注工事抽出事案」10 件を報告。(詳細は資料 P. 23 参照)

2) 委員会において、1) の 10 件のうち本日審議する事案として以下の 6 事案を選定。

【選定事案】

◆制限付き一般競争入札

②仙台市河川水路河道掘削等維持工事(その1) (石川委員抽出)

- ③仙台市宮城消防団芋沢分団大竹部・下区部コミュニティ消防センター新築等
工事（石川委員抽出）
- ⑤仙台市役所本庁舎整備第1期 昇降機設備工事（鍵屋委員抽出）
- ⑦水茂建施 第2024-1号 上追沢沈砂池南側排砂弁更新工事（米谷委員抽出）
- ⑨仙台市立病院サーバー室2空調設備増設工事（平岡委員抽出）
- ◆指名競争入札
- ⑩仙台市交通局川内営業所施設等改築機械設備工事（石川委員抽出）

(3) 抽出事案の審議

【質疑応答】

「②仙台市河川水路河道掘削等維持工事（その1）」について

論点等	発言者	発言内容
総額判断基準価格について	委員	本案件では失格となった入札が6件あったが、総額判断基準価格は実情に即した適正なものだったか。また、失格者が多かった要因について分析しているか。
	事務局	価格については最新の物価・単価をもとに積算を行っている。本案件では参加者が多く、総額判断基準価格だけでなく失格基準価格も下回る事業者数が6者となっており、競争が厳しく働いた結果だと捉えている。
	委員	総額判断基準価格等の水準を見直す余地があるのではないか。
	事務局	総額判断基準価格の考え方は要綱で定めているものであり、事業者の方でもそれを把握したうえで入札に臨んでいると認識している。1件1件の結果を見てこの率を変更するというは考えていない。

「③仙台市宮城消防団芋沢分団大竹部・下区部コミュニティ消防センター新築等工事」について

論点等	発言者	発言内容
予定価格について	委員	1回目の公告が入札者なしのため不調となっているが、予定価格が実情にそぐわないのではないか。
	事務局	工事案件全体にかかる不調の要因としては昨今の技術者不足や資材高騰、工事内容の特殊性等の影響がある。本案件2回目の公告時は工事内容の見直しや単価改定による再積算で予定価格の変更があり、加えて発注時期も変わったため事業者側で人員配置が可能となって2者が参加できたと考えられる。不調が続かないよう、取り組んでいる。 予定価格の積算については、定められた基準を基に工事規模から算出した数量に対し、実勢に合わせて改訂される単価を掛け合わせて積算している。
単価改定について	委員	単価の見直しは適切に行われているか。
	事務局	積算基準は決まっている。仙台市単価は毎月更新しており、予定価格はなるべく実勢価格に合うようにしている。物価高騰への対策として契約書でスライド条項を定めており、資材価格が急騰した場合は協議のうえ対応する。

「⑤仙台市役所本庁舎整備第1期 昇降機設備工事」について

論点等	発言者	発言内容
予定価格について	委員	調査基準価格は公表されていたか。
	事務局	公告時は非公開で、事後公表である。
	委員	同額の入札が3件あるが、調査基準価格は予定価格から推測できるものか。
	事務局	予定価格に対する調査基準価格の割合は公表されている。
関連業務の業者選定方法について	委員	今後発注が想定される昇降機設備の維持管理業務は本案件の落札者が請け負うことを見込んで、入札額はこの金額に抑えられているのか。
	事務局	維持管理業務では当初の設置業者が実績ありとして契約相手方になりうるが、本案件については適切に積算され、入札が行われたと認識している。
	委員	維持管理業務の契約にあたっては当初の設置業者が有利になると考えられる。こういった場合に競争を働かせることは困難か。
	事務局	事業者の選定にあたっては、コストを最も安く抑えることが大前提である。業務内容を精査し、競争入札を行うことを基本としている。仕様書を作成する中で特殊事情がある場合は特命随意契約となる可能性がある。

「⑦水茂建施 第2024-1号 上追沢沈砂池南側排砂弁更新工事」について

論点等	発言者	発言内容
入札参加者数について	委員	参加者が1社のみであるが、どのような事情が考えられるか。
	事務局	本案件は施工中も完全停止が不可能な水道施設の工事である。また、単純な機器交換ではなく、老朽化した躯体との合わせ込み等の手間を要するため、契約金額に対して利益が少なく、事業者に敬遠された可能性がある。
工期の設定について	委員	本案件の工期は契約金額に対して長いように見受けられる。これは長めに設定しているためか、あるいは長期間にわたり施工するためか。
	事務局	設置する機器が特注品であるため調達期間を長く確保している。また、施工に当たっては沈砂池の一部停止を伴うため、夏場の高需要期を避けるなど施工時期の調整を踏まえた工期設定とした。

「⑨仙台市立病院サーバー室2空調設備増設工事」について

論点等	発言者	発言内容
入札参加者数について	委員	入札参加者が1社のみであるが、本案件の工事内容は参加者が限られるような特殊なものだったか。
	事務局	工事内容は一般的なものであるが入院患者の居る建物内での作業であり、作業時の配慮を要するという印象を持たれたかもしれない案件であった。
落札業者について	委員	本案件の落札者は既存設備の施工事業者と同一か。
	事務局	異なる事業者である。

「⑩仙台市交通局川内営業所施設等改築機械設備工事」について

論点等	発言者	発言内容
指名業者選定方法について	委員	指名業者を給排水衛生冷暖房工事業者とした理由は何か。
	事務局	各建物に引く水道管や雨水管・污水管等の下水道施設の更新、建物の空調設備等の施工が主になるため。
入札経過について	委員	不調・取りやめが7回続いた理由をどのように分析しているか。
	事務局	バスを運行しながらの施工になるため作業ヤードに制限があり、また、作業工程についての制限もあるため工事の難易度が高かった。加えて、技術者不足の影響もあったと推察する。
予定価格について	委員	予定価格の見直しは行ったか。
	事務局	公告の都度、最新の単価で積算している。また、工事内容については事業者ヒアリングを行い、一部を別発注にするなど仕様の変更を行っており、変更分について予定価格の増減はある。
施工範囲について	委員	多くの施設の更新を一式で発注すると工期が長くなり、事業者に敬遠される要因になり得る。分割発注は考慮したか。
	事務局	制限の多い環境での作業になるため、複数業者が同時に現場へ入ると安全管理・工程管理が難しくなる。そのため事業者数を1社に絞ることとした。

以上のほか「全体を通しての質疑」について

「⑧仙台市ガス局港工場前面海域浚渫工事」について

論点等	発言者	発言内容
工事概要について	委員	浚渫工事はどれ程の頻度で行われているか。
	事務局	2年に1度水深の測量を行い、浚渫を計画している。定期的な工事ではない。

6 その他

今後の予定に関して、事務局から各委員に次のとおり依頼及び通知した。

- ① 次回の抽出委員は米谷委員に依頼する。
- ② 次回の委員会の日程は、令和7年1月28日の予定である。

7 閉会